

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	○事業所と地域とのつきあい 地域との交流も盛んに行われているが事業所の近くには学童クラブ、小・中学校があることや、また理事長が小学校の校医をされている等の関わりも活かし、一層交流が図られることを期待したい。	地域行事への参加と近隣の学童クラブ、小・中学校との交流を図る。	①地域の情報把握と参加に向けての検討を繰り返し行い、一層交流を深める。 ②学童クラブ、小・中学校にグループホームけいあいを認知してもらい、交流の機会を創設していく。	12ヶ月
2	13	○災害対策 既に夜間を想定して、夕方の外の風景が変わったところに避難訓練を実施しているが、更に地域協力員との連携を強化して、夜間に(避難訓練を)実施されることを望みたい。	地域防災員との連携を強化し、夜間の避難訓練を年1回以上実施する。	①夜間の職員1人体制の時間帯に訓練を実施する。 ②消防署の指導のもと、夜間の災害時のマニュアル(手順書)を整備し、職員、地域協力員に周知を図る。	12ヶ月
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。